

令和7年度 川西町健康づくり推進協議会

日時：令和7年10月30日（木）14:00～15:15

場所：川西町保健センター 集団指導室

【次第】

1. 開会
 2. 案件
 - (1) 保健事業報告について
 - (2) 川西町新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について
 3. 質疑
 4. 閉会
-

【出席者】 委員 13 名（欠席 1 名）、事務局 4 名

【内 容】

1. 開会
2. 議題
 - (1)令和6年度 保健事業報告
 - ・成人保健事業（健康づくり）・精神保健事業について
 - ・母子保健事業について
 - ・予防接種事業について
 - (2)新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について
 - ・計画の概要説明
 - ・意見交換
 - 『感染症が流行したときの「まん延防止策」について』
3. 閉会

意見交換内容

『感染症が流行したときの「まん延防止策」について』

①グループ

- ・自治会の協力のもと、衛生用品の配布ができた。
- ・衛生用品の配布のタイミングにずれが生じた。
- ・コロナ禍において、老人クラブの活動を休止した。
- ・婦人会活動の「お弁当の配布」を中止し、料理教室も実施方法を変えるなど工夫した。
- ・今の活動においても、感染予防方法が継続されている。(マスク着用など)
- ・カラオケなど歌を歌うときはマスク着用、マイクを持参(マイ・マイク)したり、毎回消毒したりして使用していた。
- ・気をつけていても、感染症に罹るときは罹る。集団で行動するときには尚更。

②グループ

- ・コロナ禍、歯科医院では感染拡大にはなりにくかった。普段より飛沫を扱うため、感染には十分すぎるほど配慮していることや、少人数での対応になるため、感染拡大になりにくかったのかと感じており、普段からの感染予防が大切である。(感染予防行動が当たり前になる)
- ・口腔内をきれいにすることで、感染予防につながる。
- ・普段から、院内でスタッフに対して感染予防についての勉強会を実施していた。
- ・普段からミストが出ないようにしたり、オゾン水を利用(うがい等)したりしている。
- ・全国的にも、高齢者の運動習慣(社会参加)は低下したが、歯みがき習慣は低下しなかった。歯の健康は維持できていた。
- ・コロナ禍でみんなが「3密」を避けていた時は、インフルエンザの罹患者が減った。今は両方流行っているが、爆発的ではない。
- ・ワクチン接種は集団の免疫を下げる効果はある。(ワクチンで重症化を防げる)
- ・「手洗い」「マスク」「うがい」「換気」を普段から意識して行うことが大切。

③グループ

- ・家族が医療従事者で、家の中も感染症対策に配慮していたおかげで、家でも職場でもまん延しなかった。
- ・スポーツフェスタでインフルエンザが拡大してしまった。(窓を閉め、エアコンを付けていた)暑い時期の対策が難しかった。
- ・各家庭で発熱した場合、体調不良の際は早めに病院を受診するよう気をつけた。(兄弟間の感染予防)
- ・子育て世代や一人暮らし世帯の物資の調達が難しかった。
- ・いろいろなマスコミの情報の中から、正確な情報を選択して伝えることが難しかった。
- ・乳幼児健診の受診率低下だけでなく、自主体操グループなどの集団での活動についても制限がかかり、難しかった。

⇒これらの情報をまとめ、新型インフルエンザ等対策行動計画内に反映する。